OpenRTM-aist (Java) - 機能 #2267

コンフィギュレーションパラメータ変更時に個別のパラメータごとにコールバックが呼ばれるようにする

2011/10/10 10:17 - n-ando

ステータス:	終了	**開始日:**	2011/10/10
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:		**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:			

説明

現在の実装では、onUpdateParamコールバックが呼ばれないが、これを個々のパラメータが変更された際に呼ばれるようにする。
C++ではr2231/2232にてこの変更を行った。
C++における実装方法は以下のとおり。

- unbindParameter() の実装 (コールバックとは直接関係ない)
- changedParameters() の追加
- RTObject::getConfigService() の追加
- ConfigBaseにConfigAdminのポインタとメンバー関数ポインタを渡すsetCallback関数を実装
- ConfigBaseクラスメンバ変数としてConfigAdminのポインタとメンバー関数ポインタを追加
- bindParameter関数内でsetCallbackにてConfigAdminとメンバ関数onUpdateParamを渡す
- 実際にコールバックを呼ぶConfigBase::nofityUpdateを実装
- Configクラスでは、update()関数内で変数の値の変更があった場合にnotifyUpdateを呼ぶ

なお、ConfigAdmin::update()
が呼ばれて初めて変数の値が変更されるため、特に意図的にコールしなければこのコールバックはRTCがactive状態の時にのみコールされる。

関係しているリビジョン

リビジョン 631 - 2012/01/11 10:52 - fsi-katami

The callback of the configuration is added. refs #2267

リビジョン 632 - 2012/01/11 11:01 - fsi-katami

The callback of the configuration is added. refs #2267

リビジョン 634 - 2012/01/12 11:52 - fsi-katami

ConfigAdmin::changedParameters() has been added. RTObject::getConfigService() has been added. refs #2267

リビジョン 635 - 2012/01/12 14:53 - fsi-katami

Clear changed parameterlist in update() functions. refs #2267

リビジョン 636 - 2012/01/12 15:04 - fsi-katami

The callback of the configuration is added. refs #2267

リビジョン 637 - 2012/01/12 15:20 - fsi-katami

Update on initialize has been added. refs #2267

履歴

#1 - 2011/10/10 10:18 - n-ando

- プロジェクト を OpenRTM-aist (Python) から OpenRTM-aist (Java) に変更

#2 - 2011/10/11 01:19 - n-ando

- 説明 を更新

#3 - 2012/01/12 15:21 - 匿名ユーザー

- ステータス を 新規 から 解決 に変更

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

#4 - 2012/02/04 04:10 - n-ando

- ステータス を 解決 から 終了 に変更